

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年10月26日

計画の名称	千代田町公共下水道事業整備計画（重点計画）													
計画の期間	平成３０年度　～　令和０４年度（５年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	千代田町													
計画の目標	・ 公共下水道の整備を推進し早期に下水道処理人口普及率を向上させて生活環境の改善を推進するとともに、公共用水域への汚濁負荷量削減を図り河川等の水質改善に寄与する。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		292	Ａ	292	Ｂ	0	Ｃ	0	Ｄ	0	効果促進事業費の割合Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）	0	％

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30当初）	（H32末）	（H34末）
1	・下水道処理人口普及率を28％（H30当初）から33％（H34末）に向上させる。			
	下水道処理人口普及率	28％	31％	33％
	下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)			
2	・汚水書処理人口普及率を55％（H30当初）から71％（H34末）に拡大させる。			
	汚水処理人口普及率	55％	66％	71％
	汚水処理施設を利用できる人口(人)/総人口(人)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	千代田町	直接	千代田町	管渠（ 汚水）	新設	第3処理分区（A1-1）	150～200mm L=1,600m	千代田町						37	-	-
	A07-002	下水道	一般	千代田町	直接	千代田町	管渠（ 汚水）	新設	第2処理分区（中央幹線） （A1-3）	150～250mm L=2,600m	千代田町						255	-	-
										小計						292			
											合計						292		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
千代田町で実施する。	令和5年10月
	公表の方法
	千代田町のホームページで公表する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道事業により、下水道未普及地区の解消が図られた。また、生活環境の改善も図られ、河川等の水質改善に寄与することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
本事後評価にて、下水道未普及地区の解消により生活環境の改善を推進することができ、公共用水域への水質汚濁負荷量の削減ができた。 今後の計画において、さらなる下水道未普及地区を解消し、生活環境の改善を推進するとともに、千代田町における快適な生活環境の実現を目指す。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	33%	主に第2処理分区の整備を実施する中で、道路事業と協調する必要性のある最下流部周辺を除き、上流部を先行して整備したため。また、令和3年度に下水道区域内人口の精査を実施したため。
	最 終 実績値	29%	
2	汚水処理人口普及率		
	最 終 目標値	71%	主に第2処理分区の整備を実施する中で、道路事業と協調する必要性のある最下流部周辺を除き、上流部を先行して整備したため。また、令和3年度に下水道区域内人口の精査を実施したため。
	最 終 実績値	66%	